

令和元年度 第2回大阪府泉州医療・病床懇話会 議事概要

日 時：令和元年12月25日（水）午後2時から午後4時30分

開催場所：岸和田市立浪切ホール 4階 特別会議室

出席委員等：資料「第2回大阪府泉州医療・病床懇話会出席者」のとおり

◇議題1 2019年度「地域医療構想」の進め方と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1】 2019年度「地域医療構想」の進め方と進捗状況

《意見・質問》

特になし

◇議題2 泉州二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明

【資料2】 泉州二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

《意見・質問》

特になし

◇議題3 泉州二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明

【資料3】 第2回病院連絡会結果の概要（泉州二次医療圏）

【資料4】 非稼働病床に関する運用計画書一覧表（泉州二次医療圏）

《各病院の将来プランに対する意見・質問等》

<泉大津市立病院・府中病院の統廃合についての意見・質問>

（質問）小児周産期の対応で、小児科と産科だけでは診ることができない合併症患者への対応はどうするのか。

（回答）3病院で連携して対応する予定。

（意見）再編にあたって民間病院が減っていく中で病院数を増やすのはいかなものか。

（意見）今後、小児人口は減少傾向にあることから、泉大津市立病院の病床稼働率を考えると、まずはダウンサイジングを考えるべきではないか。

（意見）110床の小児・周産期施設を設置することは非常にインパクトがある。医師確保の観点を含めて、将来の泉州地域における小児・周産期の医療体制の提供・運営方法について継続的な議論が必要。

<和泉市立総合医療センターの説明に関する意見・質問>

（質問）緩和ケア病床を急性期へ転換させるとのことだが、緩和ケア病床は地域にとって病院の枠を超えて必要なものであると考えられる。病床の減少について再考できないか。

（回答）検討する。

<阪南市民病院・新泉南病院に関する意見・質問>

（意見）阪南市民病院の転換した小児の7病床は、地域にとって重要なものだと思っている。

（意見）新泉南病院は特殊な介護医療系の病院であるため、急性期から回復期への転換については理にかなっていると考えている。

<貝塚市立病院に関する意見・質問>

(質問) 市立貝塚市民病院は変更なしと書いているが本当に変更はないのか。

(回答) まだ方針決定はしていないが、地域包括ケア病床の設置も検討している。貝塚市内に地域包括ケア病床がなく他市で入院している状態。また、行政や市議会内でもその必要性についての意見がでている。

<その他>

岸和田徳洲会病院から、同一法人の東佐野病院の病床59床(急性期)を移転する方向性である旨報告があった。そのことに対して事務局より病院の再編計画については、(次年度以降の)地域医療構想関係会議での議論が必要であることを教示。

◇議題4 大阪府医師確保計画策定にかかる検討状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室医療対策課から説明

【資料5】 大阪府医師確保計画における医療提供体制の検討について

◇議題5 泉州二次医療圏大阪府外来医療計画の素案

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料6】 大阪府外来医療計画(素案)

≪意見・質問≫

(意見) 現状の見える化、分析ばかりでなく、方向性や過不足がある部分などを示してほしい。府として今後どういう方向性を示していくのか。

(回答) まずは見える化をして、それぞれの圏域で不足をしている部分を示すことで、現状把握してもらって自発的な協力を促していく。現時点で大阪府の方向性を示すことは考えていない。新規開業する医師に対して各地域で不足しているものを情報提供するとともに、協力可能な事項を意向書という形で確認し、その結果を圏域に情報提供する形を考えている。

◇議題6 泉州二次医療圏における第7次医療計画における取組状況の評価

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明

【資料7】 2019年度 第7次大阪府医療計画P D C A進捗管理票 泉州二次医療圏

≪意見・質問≫

特になし